



桑名市博物館にて、初夏の企画展「絵図と地図のセカイ」が開催中！

5月25日（土）から7月7日（日）まで、桑名市博物館にて興味深い企画展が行われています。今ではスマホのマップやカーナビなど紙以外の地図が便利になりましたが、古くから人々は位置を知るだけではなく、色々な情報を共有するために「地図」、江戸時代では「絵図」を使ってきました。今回の展示ではいろいろな目的で作られた江戸時代の絵図や地図、浮世絵や陶器に表された桑名の城下町、桑名藩領であったいなべ市も含めた地域の昔の様子を知ることができます。

郷土資料館の「伊勢国内桑名藩領図」が桑名で公開中です

展示の中でもひととき目を引く（個人的見解です）のは、郷土資料館で常設展示している桑名藩領図が関係深い桑名の地で、多くの方々に見ていただいていることです。本物の桑名藩領図は大きくて巻物になっているので展示するのも大変なので写真パネルの展示であるのは残念ですが、この資料の持つ重大な意味はたくさんの人々に伝えることができます。



桑名市博物館の展覧会情報 休館日：毎週月曜日
会期：令和6年（2024）5月25日（土）～7月7日（日）
入館料：大人[高校生以上]150円、中学生以下無料

「伊勢国内桑名藩領図」

郷土資料館にある江戸時代の桑名藩の地図です。いなべ市も含まれます。この絵図の特色は、山や川の地形、特に溜池や用水路などの水利施設について色鮮やかに描いています。桑名の城下町や焼失する前の桑名城天守閣が詳細に描かれていることから、絵図の書かれた時期もわかってきました。今回、専門家に見ていただきいろんなことがわかりました。

